

ツアー
「2R」とは

リサイクルとリユースの
かしらも し
頭文字からとっているっぴ。



こたえ



「くらしとごみ」16ページに
どんな風書いてあるかな？



ここが
ポイント！



もし、地球がごみでいっぱいになってしまったら、どうしましょう？ 地球を守り、^{かぎ}限られた^{しげん}資源を大
うめ立て処分地^{しよぶんち}を長持ちさせるためには、まずはごみになるものを減らす「リデュース」と、
大切に使う「リユース」、そして資源^{しげん}として活用する「リサイクル」の取り組みが大切です。
中でも「リデュース」「リユース」の^{ツアー}「2R」の取り組みが^{とく}特に大切です。

ツアー

2R...

リデュース

Reduce

ごみになるものを減らす

と

リユース

Reuse

くり返し大切に使う

かしらも し
の頭文字



英語で書いたら
どっちも「R」で
はじまるんだニャ！

なんで
まず「2R」が
大切なん？



リサイクルはとても大切な取り組みです。しかし、リデュースやリユースに比べて、回収したも
のを運んだり、製品化したりするときに、電気や燃料などのエネルギーが多く必要です。ごみを減
らすためには、より環境^{かんきよう}にやさしいリデュースやリユースの^{ツアー}2Rに取り組むことが大切です。

3つの取り組みのうち、特に大切な「2R」は、
「リデュース」と「リユース」ですね！
皆さんでこの2つにしっかり取り組めば、
ごみはもっと減らせそうですよ。

かいせつ
するよ！



ちょっと、ひっかけ問題だったかな。よく思い出してみてくださいね。

「リデュース（ごみになるものを減らす）」「リユース（くり返し大切に使う）」
「リサイクル（資源^{しげん}として活用する）」の3つのうち、どれがまず大切だった
でしょうか。

「リサイクル」もとても大切な取り組みですが、資源^{しげん}としてもう一度使える形にするには、
多くの電気や燃料^{ねんりよう}が必要となります。より、環境^{かんきよう}にやさしい「リユース」「リデュース」に
まず取り組んでほしいので、「まずは2R、その次にリサイクル」と覚えてくださいね。